



## 健康願って 一杯

長草天神社どぶろくまつり

2月23日、長草天神社でどぶろくまつりが開催され、多くの参拝客でにぎわいました。

この祭りは市無形民俗文化財で、今年で526年目になります。どぶろく造りは長草地区の6つの組が交代で行い、今年は酒元本郷組が担当。アルコール度数19.2度、700%のどぶろくが、多くの参拝客に振る舞われました。会場には赤い顔をした想像上の動物「猩々」が登場し、子どもらの頭を竹刀でたたき、福と徳を授けました。



▲猩々から福を授かる子どもら

## ▼みんなでアイラブユー♡



## もうひとつの言語として

大府市手話言語条例が可決

3月13日、市議会で大府市手話言語条例が可決されたことを祝い、条例案の作成に関わったろう者や手話サークルすみれの皆さんと議場でアイラブユーを表す手話での記念撮影が行われました。この条例は、手話が言語であることやその手話を使用するろう者への理解の普及を進めることが目的で、ろう者などの意見を聴く機会を設けることや聴覚障がい児などへの支援などについて明文化されています。今後、市では啓発リーフレットや手話紹介動画の作成など、手話に関する施策が行われます。

## ▼左から横根山自治区の瀧瀬忠義区長、岡村市長、北山コミュニティ推進協議会の山口公平会長



## 地域と連携したまちづくり

北山公民館が優良公民館表彰を受賞

3月12日、文部科学省第72回優良公民館表彰を受賞した北山公民館の関係者らが岡村市長に受賞報告をしました。

北山公民館では自治区・コミュニティ・大学・民間企業と連携した公民館事業を実施しており、その地域力の向上に向けた取り組みが評価されました。中でも小学生などの若い世代を呼び込み、世代を超えた交流などを行う「エコキッズ」は、将来地域で活躍するリーダーの育成にもつながる特徴的な事業として挙げられました。



3歳以下のおおぶキッズをご紹介！  
掲載希望の方は広報広聴課へご連絡ください。  
広報広聴課 ☎(45)6214

りく  
平原 凜空くん  
3歳



最近はお弟のお世話が楽しくて、靴下をはかせてあげたり、泣いているとあやしてあげたりしてお兄ちゃんらしくとても助かってます！明るくて元気なりくが大好き♥

るい  
平原 瑠偉くん  
1歳



日に日にできることがたくさん増えてきて、最近はお兄ちゃんの後を追って家中を走り回ってとっても元気いっぱいです！これからもお兄ちゃんと仲良く元気に育ててね♥

たかまさ  
神田 崇匡くん  
1歳



食べるのが大好き男3兄弟の末っ子です。ミカンも皮ごとかじっちゃいます(笑) 毎日、お兄ちゃんたちとごはんの争奪戦を繰り広げています。これからも、モリモリ食べて元気にたくましく育ててね！

### 広報おおぶの紙面を飾ってくださる方を大募集！

募集しているのは、「みんなにごあいさつ」[表紙などの読者モデル]。  
掲載された方には、掲載した写真を、広報おおぶの表紙風に加工してプレゼント。記念に1枚いかがですか？  
詳細は市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 広報広聴課 ☎(45)6214 ✉koho-obu@ma.medias.ne.jp

### 会って話して健康長寿

あなたのまちのふれあいサロン

### おしゃべり会(吉田町)

健康の秘訣はたくさんしゃべること！  
おしゃべりやラジオ体操などをして、いつもにぎやかで楽しい時間を過ごしています。地域の参加者が多いので、吉田地区の方で興味がある方は気軽にお電話ください。



### 開催情報

- ◆日時 毎月第4回 午後1時半～3時半
- ◆場所 弥左衛門協集会所
- ◆料金 100円/回
- ◆内容 おしゃべり、健康体操、脳トレなど
- ◆問い合わせ 鎌田富士雄さん ☎(47)5819へ。



### 大府西中学校 消防職員による普通救命講習

2月28日、2年3組の保健体育の授業で「消防職員による普通救命講習」が行われ、心肺蘇生法やAEDの操作法などを学びました。

生徒たちは消防職員から説明を受けたあと、胸骨圧迫や、AEDの操作に挑戦。「胸骨圧迫はテンポも速く、思ったより力があるので、1人でやり続けるのは大変だった」など心肺蘇生の大変さを感じているようでした。

この講習を受け、心肺蘇生法などの手法はもちろん、命の尊さを学び、他者に対する思いやりの心が育まれたことと思えます。



### 給食 5つ星 レシピ

### イワシのかば焼き風



短時間でカラッと揚げるのがコツです。揚げたイワシとたれの相性がとても良いです。

大府南中学校給食調理員さん

#### 作り方

- ① 開いたイワシの水気をペーパーでとり、両面にでんぷんをまぶす。(余分な粉は落とす)
- ② 鍋で調味料と水を煮合わせ、たれを作っておく。
- ③ ①を油で揚げ、②のたれをかける。(たれにゴマやショウガを入れると、一味違った風味が楽しめます)

#### 材料 (4人前)

イワシ 開き	4尾
でんぷん	大さじ2弱
油	適量
しょうゆ	大さじ1/2
みりん	小さじ1/2
砂糖	小さじ2
水	小さじ1



## 牛肉の消費量を拡大したい！

下村知士<sup>さとし</sup>さん(吉田町)

新しい経営理念を持ち、地域の発展に積極的な役割を果たしている中部地方の青年農業者を顕彰する「第七十九回中日農業賞」(中日新聞社主催、農林水産省と中部九県後援)で「中日賞」を受賞した(前)下村畜産専務取締役の下村知士さん。「『中日賞』を受賞した喜びよりも、『農林水産大臣賞』を受賞できなかった悔しさの方が先行しました」と最高賞を逃した悔しさを口にします。

学生時代は野球に没頭した下村さん。高校時代には東邦高校硬式野球部で甲子園出場を果たしました。「高校時代の監督からは甲子園に出場して当然と指導されました。このときの影響もあって、今でも何をやるにしても、トップを取らなければ気が済みません」と力強く話します。

下村さんは就農後から今日まで、牛肉の消費量拡大を目指してさまざまなことに挑戦してきました。自社での黒毛和牛の繁殖や牛舎での情報通信技術(ICT)の活用、牛舎の拡大、独自の餌の開発など。「牛肉は高価なイメージがありますが、

生産コストを抑えることができれば、お値打ちな価格でお客様に届けることができます。購入しやすい価格であれば、消費量も増えていく」と畜産業界の一步先を見据えます。

昨年4月には、就農して以来の目標の一つであった焼き肉店「下村牧場直営焼肉店 三代目下村牛」を市内にオープン。「地元で育てた自慢の下村牛を、地元の方にお値打ちに食べてもらいたかった。地元においていい肉があることを知ってもらい、下村牛に、そして大府市に愛着を持ってくれたらうれしいです」と話します。

常に数年先まで見据えて計画を建て、とことん前向きに突き進んでいく下村さん。これから下村さんの挑戦は続きます。



桜が満開を迎える季節。入庁して1年が経ちました。広報に配属され、たくさんの文章を書くようになりましたが、まだまだ校正だらけ。学生の頃、文才があるねって言われていたのを思い出しましたが、全て恋愛についてでした。いつか恋愛コラムができたときは、自分の才能が開花されるかもしれません。(恋する乙女 帆)